



2012 マリンバイオ部 活動報告No.2

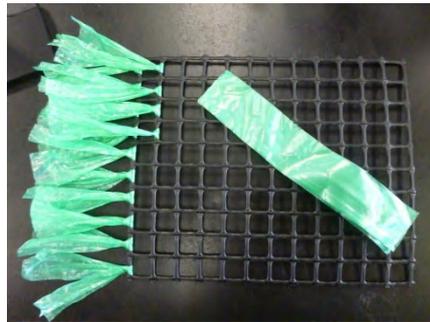
5月、ワキンやメダカ、ランチュウで多くの受精卵、仔稚魚を得ることができました。毎日の管理は大変ですが、楽しく活動を続けています。

～ ランチュウ ～

ランチュウにもワキン用に制作した産卵巣を使用しましたが、ビニール紐が長すぎたために魚体が産卵巣にからみ、動けなくなってしまいました。そこで紐を短くカットして使用しました。また、新たにランチュウの体型や動きを考えてビニール紐を短くし、トリカルネットと組み合わせて採卵巣を作成したところ、うまく産卵してくれました。産卵後の卵は水道水を使って洗卵し、プラ舟に収容しました。



【 洗卵作業 】



【 ランチュウ用産卵巣制作 】



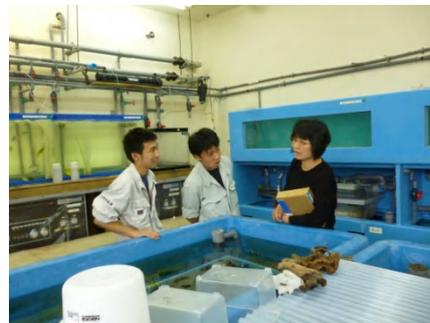
【 産卵の様子 】

～ キアンコウ ～

養老から部員がゼリー状の卵塊を持ち込みました。これが翌日にはふ化しましたが、魚種が特定できないため、魚っ知館を訪ねて調べていただきました。卵や稚魚の形状、稚魚検索図鑑からキアンコウということが分かりました。ふ化仔魚にはシオミズツボウムシやアルテミアを与えていたのですが、食べている様子はなく、残念ながら死んでしまいました。エサの与え方や種類を改善し、ふ化仔魚生産に近づけたいと思います。



【 持ち込まれた卵塊 】



【 魚っ知館にて 】



【 ふ化仔魚 】